

授業科目名・形態	介護の基本Ⅲ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野 修	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。これらを踏まえ、本講義では、「介護の基本」として、ICF利用と介護とリハビリテーションの関係について学習する。ICFをより理解するために何回か事例を示し、アセスメントを行い、ケースのシミュレーションをしていただく。リハビリテーションの目的は人間らしく生活できるよう支援することであり、その「全人間的復権」についても深く考察する。

【到達目標】

- 1) ICFの視点に基づくアセスメントを理解し、エンパワメントの観点から、個々の状態に応じた自立を支援するための環境整備や介護予防、リハビリテーション等の意義や方法を理解する。
- 2) ICFの構造を把握し、生活機能と各因子との相互作用について理解する。
- 3) 介護とリハビリテーションの基本的な考え方について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 自立支援とは
- 第2回 自立支援とエンパワメントの考え方
- 第3回 自立支援とICFの考え方
- 第4回 ICFとは
- 第5回 ICFにみる相互関連性・利用者のもつ強さ
- 第6回 リハビリテーションとは
- 第7回 リハビリテーションの実際
- 第8回 介護予防におけるリハビリテーション
- 第9回 リハビリテーションを考えるうえでの障害の理解と評価
- 第10回 リハビリテーションのなかでの自立のとらえ方
- 第11回 リハビリテーションにおける介護福祉士の役割
- 第12回 介護予防の概要
- 第13回 介護予防の種類と特徴
- 第14回 高齢者の身体特性と介護予防
- 第15回 介護予防の実際・介護予防における介護福祉士の役割

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 介護の基本Ⅰ 中央法規出版（株）

【参考文献】

・障害者福祉研究会，編：ICF 国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－，中央法規出版

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院等で、主に脳血管疾患患者のリハビリテーション看護の経験を積んできました。その経験を生かして、看護師と連携して福祉職がリハビリテーションを行っていくことの重要性をお伝えしたいと思います。

【学生へのメッセージ】

介護とICF、リハビリテーションとの関係を理解してください。予習復習も欠かさずに行ってください。